

事業番号	05 10 02	事業改善シート(令和4年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input checked="" type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	介護人材確保対策事業	部局	健康福祉部	課・室	介護支援課		
		実施期間	H5 ~	E-mail	kaigo-shien@pref.nagano.lg.jp		
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)							
8つの重点目標	⑦健康長寿日本一を維持		⑥様々な人の労働参加を全国トップに				
総合的に展開する重点政策	4-3 医療・介護提供体制の充実		5-1 多様性を尊重する共生社会づくり				

### 1 現状と課題

目指す姿	介護分野の人材不足の解消を図るため、新卒者・求職者をはじめとする多様な人材の入職と職場定着を促進するとともに、介護従事者に対して介護に関する知識・技術の普及を進め、質の高いサービスの提供を目指す。	
これまでの取組	入職促進・資質向上・職場定着等を目指した介護人材確保対策、認知症介護に関する研修など	
令和3年度の点検結果・現状分析	課題	今後の方向性
	介護サービスを必要とする高齢者が増加する中、介護人材の確保は必要不可欠な施策である。少子化により労働力人口が減少し、多くの産業で人手不足となっている現状から、ますます人材確保が困難になることが予想される。	地域医療介護総合確保基金等多様な財源を活用し、質・量の両面から、介護人材の確保に資する事業を多角的に実施する。

### 2 令和4年度事業内容

予算のポイント ・ 主な取組(予定)	参入促進 ○他分野からの参入支援、新規人材の確保 ・求職者の希望や適正に合った施設への派遣就労によるマッチングと資格取得を併せて支援 ・介護職を目指す福祉系高校生に対する学費や、他業種の従事者等が公的職業訓練等を修了し介護職場で就労する場合の就職支援金の貸付けにより、介護分野への参入を支援 ・若者や移住者等の求職者獲得等のため、オンライン版福祉の職場説明会を実施 ・外国人介護人材の受入促進のため、日本語学習や介護の技術習得を支援  資質向上 ○資格取得の支援 ・介護職員初任者研修や実務者研修の受講費用を助成し、資格取得・資質向上を支援  定着支援(離職防止) ○タスク・シフティング、働き方改革の推進 ・多様な人材を介護助手等として活用したサービス提供モデルや多職種連携によるチームケアを推進 ・事業所の生産性向上・職員の負担軽減を図り、イメージアップにつなげるため、介護ロボット・ICTの導入を促進
	DX、ゼロカーボン、共生社会づくり、学びの県づくりに資する取組 <b>【共生社会づくり】</b> 福祉・介護サービス従事者が、やりがいを持って働き続けることで、高齢者が質の高いサービスを受けられ、住み慣れた自宅や地域で安心して生活を送ることができる社会を目指す。

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし、—:数値なし]								
No	成果指標	単位	R1年度	推移	R2年度	推移	R3年度(見込)	R4年度目標値
1	介護ロボット・ICT導入支援事業所数(法人数)	法人	5	↗	12	↗	86	40
2	認知症介護従事者研修修了者数	人	653	↘	368	↗	700	700
3								
4								
5								

  

事業 コスト	区分(単位:千円)		R2年度	R3年度	R4年度	
	予算額	前年度繰越				
		当初予算	284,538	322,831	要求 466,230 予算案 436,265	
		補正予算	293,435			
		合計(A)	577,973	322,831	要求 466,230 予算案 436,265	
		うち一般財源	31,294	21,864	要求 39,043 予算案 39,043	
	決算額(B)	547,729				
	職員数(人)		3.0	3.0	3.0	

  

設定理由	成果指標	1.第8期高齢者プラン(2021~2023)の計画期間中に介護報酬改定への対応及び介護現場の環境整備を促進するため、介護ロボット・ICT導入支援事業数(累計)150法人を目標として設定。 2.第8期高齢者プラン(2021~2023)の計画期間中に認知症に関する専門的な知識・技術を習得した介護職従事者の研修修了者数(累計)を2,000人として目標を設定。
	目標値	1.第8期高齢者プラン(2021~2023)のR3(初年度)の成果見込86件、R4目標40件、R5は24法人以上で150法人の達成を目指す。 2.第8期高齢者プラン(2021~2023)のR3(初年度)の成果見込み700人、R4目標700人、R5は600人以上で2,000人の達成を目指す。

予算要求からの主な変更点	福祉系高校修学資金等貸付事業について、既存の貸付原資により対応が可能のため減額
--------------	---

事業番号	05 10 02	事業改善シート (令和4年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input checked="" type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	介護人材確保対策事業			部局	健康福祉部	課・室	介護支援課

細事業 No.	細事業名	R2年度当初予算	R3年度当初予算	R4年度当初予算		
1	介護人材確保対策事業	265,196 千円	306,571 千円	要求 予算案	450,827 420,862 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)			
1	入職促進	直接	多様な人材の入職促進のため、資格取得支援・マッチング、職業紹介・就職相談会、福祉の職場体験、介護職を目指す者への資金の貸し付け等を実施			
2	資質の向上	直接	介護職員の資質向上を図るため、研修受講費支援、介護事業所に対する訪問研修、介護職員の医療的知識向上研修、外国人介護人材に対する日本語学習支援等を実施			
		委託				
3	労働環境・処遇の改善	補助金	介護職員の身体的・精神的負担の軽減、働き方改革を推進するため、介護ロボット・ICTの導入支援、施設内保育所への運営費支援、外国人介護人材受入のための住居借上支援、介護助手等導入による機能分化の促進等を実施			

細事業 No.	細事業名	R2年度当初予算	R3年度当初予算	R4年度当初予算		
2	介護研修事業費	19,432 千円	16,260 千円	要求 予算案	15,403 15,403 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)			
1	・認知症介護基礎研修 ・認知症介護実践研修 ・地域密着型認知症介護従事者研修	委託	認知症高齢者等の介護に従事する職員の資質向上を図るため、認知症介護の基礎的な知識・技術に関する研修、より実践的かつ認知症ケアの中核的役割を担うことができる者の養成のための研修、施設管理者等に対する、認知症介護等事業所の機能充実を図る研修等を実施【基礎フォローアップ研修研修:2回、実践研修:6回、地域密着型研修:6回】			
			直接 委託	認知症介護に関する実践的研修を担える指導者を養成するため、指導者となる者に対する、研修プログラムの作成方法や教育技術の習得等に関する研修を実施【指導者養成研修:1回、フォローアップ研修:1回】		
				補助金	介護支援専門員の資質向上を図るため、介護支援専門員に対する実務研修、更新研修等各種研修の実施に係る経費の一部を補助	
3	介護支援専門員研修事業	補助金	介護支援専門員の資質向上を図るため、介護支援専門員に対する実務研修、更新研修等各種研修の実施に係る経費の一部を補助			